

皆さんの声を議会へ

当市議会では、市政全般にわたって事業の執行状況や将来に対する方針などについて質問し、執行機関からの報告・説明などを求める一般質問において、代表質問と個人質問が認められています。代表質問は会派代表者が市政執行方針等に対して行うもので、改選年を除いて3月定例会において行われています。市民から重大な関心と期待を持たれていることについて問いかけ、議員自らが提言を行い、政治姿勢を示すことができる大事な議員活動の場です。

本会議場での議員一人当たりの質問時間は会派代表者が45分以内、無所属議員は15分以内となっています。今議会では2日間にわたり行われ、5名の議員が質問しました。

質問者	全質問項目
好川 章 (新政会)	令和7年度における市政運営 災害に強い安全・安心なまちづくり 市内バス路線の運行 滝川駅周辺地区再生整備基本計画 滝川市立病院 こども家庭センター 滝川ふれ愛の里及び子育て支援センター 保育ICT 子育て世代の女性の健康維持 子どもの医療費助成 学校給食費の支援 國學院大學北海道短期大学部への支援 新小学校基本計画策定事業 市立病院の人材確保 市立病院経営改善検討会議 地域における防災力の向上 市民生活の安全確保 持続可能な農業の発展 Letara株式会社への支援 河川機能の保全 事業者協力型自家用有償旅客運送の可能性 保健福祉部門の組織再編 財政健全化の推進 ふるさと納税 自治体DX推進 学校給食提供体制整備事業 高校の間口問題 地域おこし協力隊員
荻野 仁史 (市民ネットワーク)	こども家庭センター 放課後児童クラブ事業 医療費無償化 國學院大學北海道短期大学の学生確保 中空知地域の地域医療構想 防災体制 災害時避難支援 農業者の後継者対策 Letara株式会社の社員定住 市営住宅の方向性
高橋江海子 (会派清新)	滝川市こども計画 骨検診費用の助成 誰もが安心して暮らせる環境 保健・医療環境の充実 病院経営の改善 観光PR事業 新たな交流人口の拡大や創出 不登校対策 教職員の負担軽減 青少年の健全育成事業
堀 重雄 (公明党)	市内バス路線の運行 地域医療構想モデル推進区域 児童館・放課後児童クラブ事業 新しい海洋センター 高齢者支援 防災対策 企業誘致 学校近辺の防犯対策
寄谷 猛男 (日本共産党)	滝川駅周辺地区再生整備事業の一旦停止 滝川市立病院 市内バス路線の運行 子育て世帯の住環境に対する支援 空家等対策 不登校対策 戦後80年の平和を考える機会の創出

第1回定例会 代表質問から

スマート農業の推進について



好川 章
新政会

問 市が市内バス路線の運行主体となることを踏まえ、施設利用促進策として滝川ふれ愛の里にバス停を新設すべきと考えるが、見解を伺う。

答弁 昨今の乗務員不足により、現行のサービス水準を上回る変更が困難な状況にあるため、現在の水準を維持していきます。

問 市内バス路線の運行に対する市民の要望にはどのように対応していくのかを伺う。

答弁 ご要望にお応えできることには限りがありますが、真摯にお聞きし対応していきます。

問 市の基幹産業である農業の継続性は重要な課題であり、スマート農業推進は解決の一助になると考える。支援の現状と今後の取り組みについて伺う。

答弁 ICT技術の導入による省力化・効率化が求められており、国の補助事業

等を活用し積極的に支援を行っています。

問 個人端末のみで行政手続きや電子決済が完結する「行かない窓口」の導入スケジュールについて伺う。

答弁 令和7年10月のサービス開始を目指していききたいと思います。

問 より一層の防災力向上に向けて、防災士の育成支援や消防団員の増員対策などを行う必要があると考えるが、見解を伺う。

答弁 引き続き防災サポーターの育成・確保に注力し、今後、防災士の活動の可能性についても勉強していきます。また、関係各所と協力しながら消防団員の人材確保に努めていきます。

問 学校給食提供施設の統一化に対する見解を伺う。

答弁 公共施設個別施設計画の中期計画に基づいて集約化を検討していきます。

安心して子どもを育み学び笑顔あふれるまちについて



荻野 仁史
市民ネットワーク

問 こども家庭センターについては、今後様々な民間主体を含む医療機関、関係機関との連携協力等が重要と考えるが、どのような課題や障害が予想されるのかを伺う。

答弁 これまでも児童虐待等を含む要保護・要支援児童対策や、母子保健分野において、医療機関や関係機関との連携協力を進めており、障害が生じるとは考えていません。今後の課題としては、切れ目のない伴走型支援を行うに当たり、様々な支援が提供されるよう、地域資源の開拓が必要であると認識しています。

問 近隣の市町村でも高校生までの医療費無償化の自治体が増えてきているが、滝川市での導入に向けた新年度以降の検討の可能性について伺う。

答弁 近隣市町村の状況は把握していますが、国の子育て施策全体の動向を注視しつつ、市全体の事業バランスを見なが

ら検討していきます。

問 全国における短期大学の事業閉鎖、縮小等が報道されている。最近テレビCMでの積極的な学生募集を目にするが、國學院大學北海道短期大学部の新年度に向けた学生確保の状況をどのように把握しているのかを伺う。

答弁 國學院大學北海道短期大学部においては、テレビ及びラジオCMを利用し、積極的に学生募集を行っています。入学状況については、昨年までの推薦入試で前年度を上回っていると聞いています。本市としても、継続して実施しています「滝川修学応援補助金」において、地元の学生確保につながるよう支援を行うとともに、テレビ及びラジオCMなどのプロモーション事業に対しても支援を行い、短大部と連携しながら学生確保に努めていきます。

第1回定例会 代表質問から

子育て環境の充実に ついて



高橋 江海子
会派清新

問 滝川市こども計画のほか、子育て関係の条例にも子どもの人権や権利の重要性が示されている。子どもの社会参画の一環として子どもによる政策提言の場を設けてはどうか。

答弁 条例の趣旨を踏まえ、課題も含め、内部で検討していきます。

問 滝川ふれ愛の里周辺の交流人口の拡大や創出を目指す上で、交通の利便性向上に向けた官民連携のあらゆる可能性に対してどう考えているのかを伺う。

答弁 各施設の状況などを見ながら、バス路線だけではなく、費用対効果も含めて様々な方策について検討していきます。

問 子どもを狙った犯罪や闇バイトに巻き込まれないために、情報モラル教育の内容は社会情勢に合わせて日々更新していかなければならないと考えるが、今後の防止策の展開について伺う。

答弁 全国的にスマホを通じたトラブル

に巻き込まれる事件が発生しており、警察、道教委等、各関係機関と連携を密にし、啓発事業に取り組んでいます。小学校4年生から6年生を対象に昨年度からスマホ安全教室をスタートしました。令和7年度は対象を小学3年生まで拡大し、保護者に対しても参観日や入学説明会を活用し、啓発を進めていきます。

問 市立病院の経営改善に向けた内部会議を行うことによって、1、2年でどのような成果が見込まれるのかを伺う。

答弁 当院が中空知地域において必要とされる医療機能に転化していかなければならないと考えており、今後の医療需要動向や確保可能な医師数なども視野に入れた上での入院における病床数の設定、外来における地域医療機関との役割分担など、複合的な要素を整理した上で将来のあるべき姿を模索していきます。

市内バス路線及び 高齢者支援について



堀 重雄
公明党

問 市が運行主体となる市内バス路線について多くの人が滝川ふれ愛の里への運行を望んでいるが、見解を伺う。

答弁 滝川ふれ愛の里への運行については、昨今の乗務員不足もあり、現行のサービス水準を上回ることが困難な状況にあるため、隣接施設の状況なども見ながら、バス路線に限らず、費用対効果も含め様々な方策を勉強してまいります。

問 多くの人の定住を促進するためには、働く場所の確保が必要である。中空知の滝川市が中心となり、企業誘致に取り組むべきと考えるが、見解を伺う。

答弁 昨年、Letara株式会社が本市に進出していただき、全国的にも知名度が高い近隣自治体の宇宙開発企業との連携が可能であるといった地理的優位性を活かし、航空宇宙関連産業をはじめとした成長発展が期待される産業の集積を図るべく、スカイワーケーション事業を通じ、

今後の企業誘致につながる可能性がある企業へのアプローチを続けています。

問 物価上昇の折、高齢者に対する屋根の雪下ろし、排雪の補助等の支援が必要と思うが、見解を伺う。

答弁 除雪が困難な高齢者等に対して、市道から玄関先までの通路を除雪する福祉除雪という制度があり、屋根の雪下ろしについては、福祉除雪において家屋の倒壊や損傷等の危険性が高い場合に、平屋であり市内に子が居住していない方に対し、年1回実施しています。また、コミュニティ除雪として、町内会等の団体に除雪機を貸し出して除雪を行う制度も行っています。福祉除雪の対象にならなかった方や、除雪や屋根の雪下ろしでお困りの方のご相談があった際は、対応していただけたような業者の情報提供をさせていただくなどの対応に努めています。

第1回定例会 個人質問から

の市民参加について 滝川駅周辺地区再生事業



寄谷 猛男
日本共産党

問 滝川駅周辺地区再生整備事業は一旦停止するとされ、事業再開の見通しは明らかではない。しかし、まちの賑わいづくりやホールを切望する市民の要求は高まっており、事業再開の道を模索している。市民参加のまちづくりに向けた機会を確保・維持すべく、市主催のワークショップを今後も継続的に実施することについて考えを伺う。

答弁 事業が一旦停止している間においてもバスターミナル取得協議をはじめ、事業の一部再開など様々な視点による整備手法の可能性や財源の検討などを進めていきます。また、事業再開までの間には様々なことが起きると思います。その都度状況を見極めながら市民参加のあり方について判断したいと考えています。

問 公営住宅に居住する子育て世帯において、昨今の物価高騰により支出が増え、家計が圧迫されたために家賃

の低い他市町へ転居を検討している世帯もある。子育て世帯の家賃を減免するなどの対応が必要と思うが、考えを伺う。また、滝川市住生活基本計画に基づき子育て世帯の住宅の整備や支援等の一つとして展開することについて考えを伺う。

答弁 公営住宅は、住宅に困窮する低額所得者に対して低廉な家賃で賃貸することを目的とし、市場家賃を大幅に下回る金額で設定されています。家賃の減免は法令等により失業や災害などで家賃支払い能力に影響する場合に限られるため、子育て世帯を理由として実施することは考えていません。また、滝川市住生活基本計画は、滝川市全体の住宅施策を扱っており、子育て支援住宅の整備補助等も掲げておりますが、公営住宅の家賃減免とは連動しないと考えています。

委員会の構成メンバーが変わります！

令和7年第1回定例会において、委員選任議案が議決されたことに伴い、委員会の構成委員が変更になりますのでお知らせいたします。（任期：令和7年5月11日～令和9年4月29日）

◎委員長 ○副委員長

議会運営委員会（8人）

◎田村 勇 ○関藤 龍也 柴田 文男 藤田 哲也 荻野 仁史
堀 重雄 山口 清悦 安樂 良幸

総務文教常任委員会（10人）

◎安樂 良幸 ○荻野 仁史 寄谷 猛男 柴田 文男 藤田 哲也
好川 章 福井 雅章 高橋江海子 堀 重雄 関藤 龍也

厚生常任委員会（10人）

◎藤田 哲也 ○好川 章 荒木 文一 福井 雅章 高橋江海子
木下八重子 堀 重雄 三上 裕久 田村 勇 山口 清悦

経済建設常任委員会（10人）

◎木下八重子 ○山口 清悦 寄谷 猛男 柴田 文男 荻野 仁史
荒木 文一 三上 裕久 関藤 龍也 田村 勇 安樂 良幸